

2018年度 分野別計画進捗等報告書

体系番号
04010102

1. 計画名称

林業振興ビジョン

2. 計画全体の進捗状況及び総合評価

進捗評価	おおむね順調	説明	それぞれの施策において、管理指標の数値目標から見ると成果が表れないものもあるが、それぞれの施策で林業振興ビジョン推進のため事業に取り組んでいる。事業を実施するなかで課題や改善策の検討を行い、推進委員会とも連携しながらビジョンを推進していく。
今後の重点化施策番号	1	説明	手入れができない個人有林を整備するため森林環境税が創設された。今年度より譲与税として配分されることもあり、今後は森林の整備、特に個人有林の整備が重要となる。ビジョンの推進委員会では、松くい虫対策、ライフライン沿いの危険木対策、間伐材の有効活用について意見が出されたが、間伐材の有効活用については、今後のビジョン推進部会で継続協議していく。

3. 各施策等における評価内容と改革改善

区分	施策名称	進捗評価	総合評価		改革改善の具体的内容
			主な取組内容や成果	課題	
1	多様な森林整備及び環境保全の推進	おおむね順調	<ul style="list-style-type: none"> ・新規事業となる森林の環境保全を目的とした修景林間整備が地域の理解と協力のもと、ある程度軌道に乗ったと考える。 ・昨年度地元説明会を行い同意集約手続きを行った範囲が広範囲であったことから、整備面積の増が見込めた。 	森林整備に対する住民の関心に地域で温度差がある。整備の重要性のPRが必要。	財産区や林野組合等の団体有林また、個人有林の整備が必要な森林の抽出作業の実施。その所有者に対し整備の推進を促す。
2	間伐材の利用促進及び森林資源の有効活用	おおむね順調	<ul style="list-style-type: none"> ・NPO法人団体との共催で、間伐により発生した木材を活用した薪割講習会の実施。 ・間伐材から作られた木質ペレットの消費拡大を図るため県と連携しペレットストーブの購入補助を実施(11台を補助) ・間伐材を活用した木質チップを施設のボイラーの燃料に使用を検討する協議会を設立 	市域全体の森林から発生する間伐材の利活用方法の確立。 ・主に切り捨て間伐により山に放置された間伐材の利用について消費できる方法の模索。	・林業振興ビジョン推進委員会により間伐材の活用方法について調査研究を行う。
3	森林づくりを支えるための教育活動	おおむね順調	小中学校の学生を対象とした山林をステージにした作業や催し等への参加を通じ、山の役割、将来にわたっての重要性を共有することができた。	林業や森林に対して意識改革が課題	みどりの少年団活動をはじめとする、山や緑を育む催しへの積極的な参加の呼びかけ
4					
5					

※5つ以上の場合は裏面へ

4. 関連市民団体等の主な意見及び対応のポイント

		主な意見	市の考えや対応など
関連市民団体等名称	林業振興ビジョン推進部会	森林景観の保全等を目的とした修景林間整備は積極的な推進が必要	修景林間整備は景観の改善や森林に対する住民意識の向上を図る目的から今年度も要望箇所を募り、継続して実施する予定。
開催回数	1		
参加延べ人数	10		
関連市民団体等名称	茅野市産業振興ビジョン推進委員会	台風時の倒木による停電被害への対策は	県の森林税の事業で、ライフライン沿いの倒れそうな恐れのある木を未然に伐採し被害防止を図る新規事業ができた。市ではこの事業を活用し昨年被害が多発した別荘地周辺を主に実施していく考え。
開催回数	1		
参加延べ人数	14		
関連市民団体等名称		松くい虫被害の管内の状況と対策は	被害の状況は、諏訪管内では岡谷市で昨年1本と今年度3本の計4本の被害木が確認されている。当市では今のところ被害木は発見されていないが、予断を許さない状況なため、監視員や市民からの情報を基に慎重に監視を進めている。
開催回数			
参加延べ人数			

5. 添付資料

別紙「施策評価シート」